



2022年5月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 旅 工 房  
 代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 高 山 泰 仁  
 (コード番号：6548 東証グロース)  
 問 い 合 せ 先 執 行 役 員 岩 田 静 絵  
 コーポレート本部長  
 E-mail : ir@tabikobo.com

## 2022年3月期通期連結業績予想、営業外収益ならびに特別損失の計上見込みに関するお知らせ

当社は、2022年5月13日に公表予定である2022年3月期通期連結業績において、営業外収益ならびに特別損失を計上する見込みであり、前記を踏まえた2022年3月期通期連結業績予想を、以下の通りといたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年3月期通期連結業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 期 実 績 ( A ) ( 2 0 2 1 年 3 月 期 )	百万円 918	百万円 △2,120	百万円 △1,463	百万円 △1,808	円銭 △375.65
今 回 発 表 予 想 ( B )	百万円 1,037	百万円 △1,456	百万円 △1,338	百万円 △1,971	円銭 △347.82
増 減 額 ( B - A )	百万円 118	百万円 663	百万円 125	百万円 △162	
増 減 率 ( % )	12.9	—	—	—	

#### 2. 前期実績との差異の理由

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大が、前連結会計年度から引き続いており、企業活動や個人消費に大きな影響を与えております。

旅行業界におきましては、世界各国の渡航制限や入国規制等を受けて旅行需要の大幅な減退が続いております。

このような情勢のもと、当社グループでは、個人旅行事業におきまして、国内旅行需要の獲得に向けた取組を推進し、法人旅行事業におきましても、国内のMICE案件、音楽関連イベントなどを中心に営業活動を行ったことで売上高に関しては、前連結会計年度に比べて118百万円増加しております。

営業利益に関しては、支店の統合による地代家賃の削減や人件費の削減、開発外注費の精査などを行ったことで、営業損失が前連結会計年度に比べて663百万円改善しております。

なお、当連結会計年度の販売費及び一般管理費の中には、2022年2月4日付のプレスリリース「当社グローバル・アライアンス部門におけるGo Toトラベル事業給付金の受給申請に関する調査委員会設置のお知らせ」でお知らせした調査委員会による調査及び調査結果に伴う決算訂正の費用が31百万円が計上されております。

一方で、雇用調整助成金による営業外収益が前連結会計年度より減少したこと、収益性の低下がみられる固定資産の減損損失を計上したことなどを理由に、経常利益以下に関しては営業損失に比べて改善額が少なくなっております。

また、当連結会計年度は新たに収益認識会計基準の適用を行っており、前連結会計年度に採用していた会計基準を採用していた場合と比較しますと、売上高が641百万円、売上原価が641百万円それぞれ減少しております。

### 3. 営業外収益の計上

当社は、新型コロナウイルス感染症に係る特別措置に基づいた雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金の支給申請を行っており、このたび、判定基礎期間を2021年12月から2022年2月とする雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金17,582千円を2022年3月期第4四半期連結会計期間に計上する見込みであり、2022年3月期連結累計期間に計上した雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金は174,005千円となる見込みであります。

### 4. 特別損失の計上

当社および連結子会社における固定資産について、収益性の低下がみられたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、減損損失として632,823千円を特別損失に計上する見込みであります。

なお、上記の業績予想は、本資料発表現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実績の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上